

Roland

PG-200

シンセサイザーJX-3P用プログラマー

音のサンプル

SOUND SAMPLE 32



PHOTO: JX-3P & PG-200



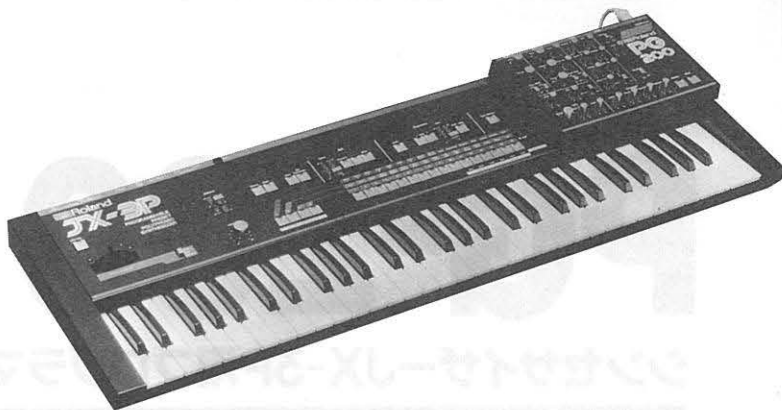
ELECTRONIC MUSICAL INSTRUMENTS

シンセサイザーJX-3P用

PG-200

PROGRAMMER

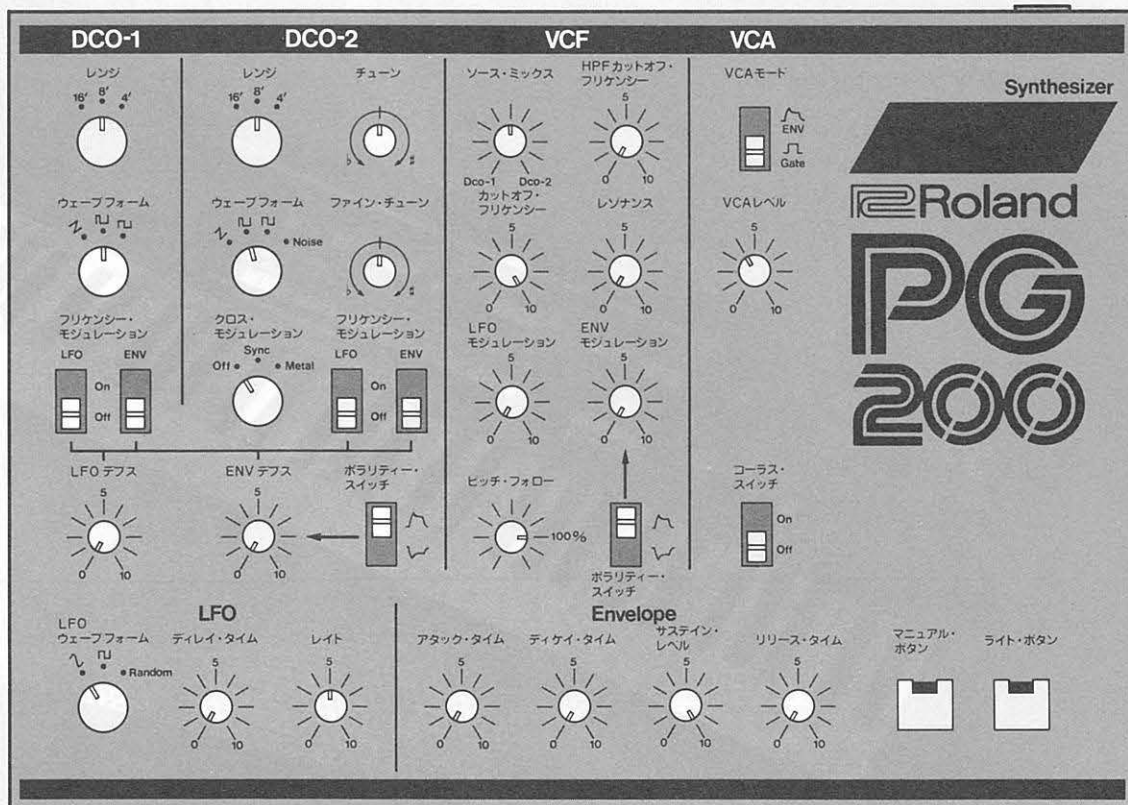
音のサンプル32



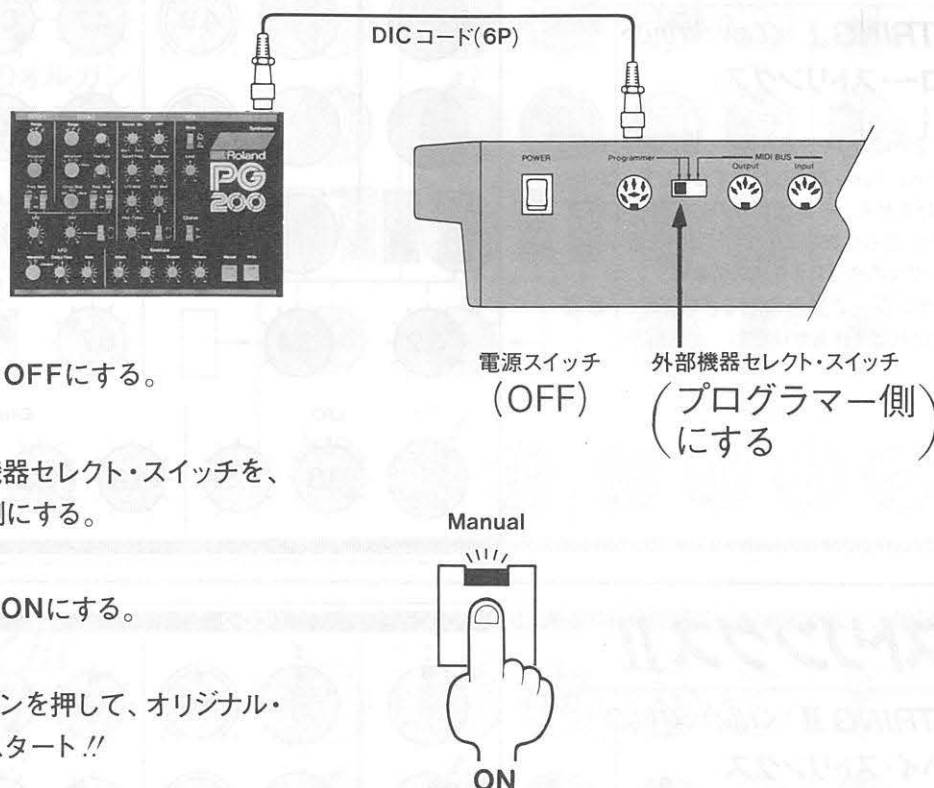
- この『音のサンプル32』は、JX-3Pのサウンドを、より豊富にプログラムするために作られた、PG-200の音のセッティング・サンプル集です。
- セッティング例は、32種類あります (P-3からP-13)。
- サンプル・ノート (P-14) は、セッティング例以外のオリジナル・サウンドづくりにご利用ください。
- 各サンプルのセッティングつまみは、あくまでも目安です。接続する機器に応じて、音色が異なる場合もあります。

- PG-200は、デュアルDCO、6ボイス・ポリフォニック・シンセサイザーをコントロールする機能をもったプログラマーです。プログラム以外にも音づくりに便利なエディット(修正)機能を備えています。
- JX-3Pは、プリセットされている音を自分の好みの音色にエディットすることができ、PG-200を利用すれば、さらに本格的な音づくりも可能となります。エディットできる要素は全部で32種類です。

パネルの名称



まずは基本接続から……



- 1 JX-3Pの電源をOFFにする。
- 2 JX-3Pの外部機器セレクト・スイッチを、Programmer 側にする。
- 3 JX-3Pの電源をONにする。
- 4 マニュアル・ボタンを押して、オリジナル・サウンドづくりスタート!!

音色のメモリー

PG-200でつくった音色をJX-3Pにメモリーさせることができます。

PG-200とJX-3Pの詳しい操作方法を知りたい場合は、取扱説明書を、ごらんください。

- 1 PG-200のライト・ボタンを押します。
- 2 JX-3Pのバンク・ボタン (CまたはD) と トーン・セレクト・ボタンを押して、メモリーさせる場所を指定してください。

目次

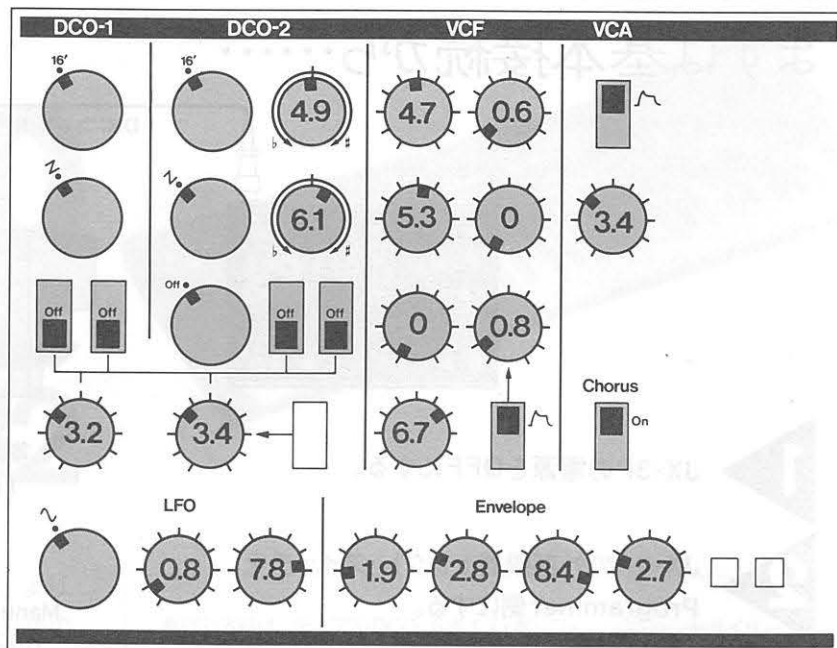
A P-3	1 スtrings I 2 スtrings II 3 オルガン I	D P-6	10 クラビ 11 ハープシコード 12 ビブラホン	G P-9	19 オーボエ 20 ソング・ホイッスル 21 シンセ・ブラス I	J P-12	28 シンク・スィープ 29 ファンキー・クラビ 30 パルサー
B P-4	4 オルガン II 5 オルガン III 6 ブラス I	E P-7	13 チャイム 14 チェレスタ 15 アコーデオン	H P-10	22 シンセ・ブラス II 23 ディストーション・ギター 24 ジューシー・ファンク	K P-13	31 プラネット 32 ジェット
C P-5	7 ブラス II 8 エレクトリック・ピアノ I 9 エレクトリック・ピアノ II	F P-8	16 ボイス 17 バイオリン 18 フルート	I P-11	25 フィルター・フロー 26 ファット・フィフス 27 シンク・ワウ	P-14	サンプル・ノート

1 スtrings I

STRING I <Low String>

<ロー・ストリングス>

音源は、DCO1、2共にノコギリ波を使い、音の高さは16'です。ピッチはFine Tuneで少しだけずらしします。この時、ビブラートはかけません。一番大切なのは、エンベロープで、アタックを多少遅らせ気味にして、リリースもつけるなどしてストリングスのやさしさを表現します。カットオフ・フリケンシーで音色の明るさを決めて、最後にコーラスをつければできあがりです。

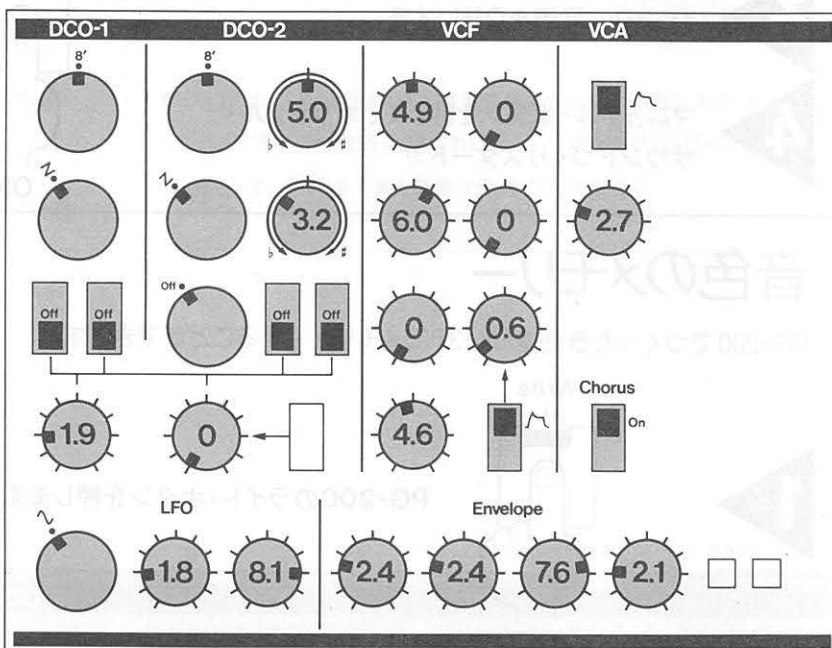


2 スtrings II

STRING II <High String>

<ハイ・ストリングス>

ストリングス I より、ピッチを1オクターブ上げ8'にします。リリースは、ストリングス I より短かめにしてください。



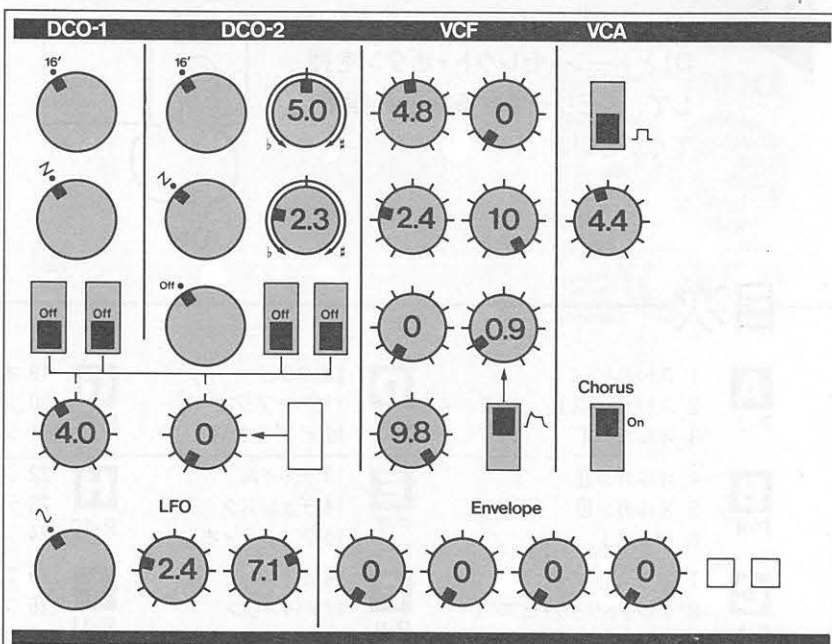
3 オルガン I

ORGAN I

<ジャズなサウンド>

ここでは、DCO1、2の他に、レゾナンスを発振させVCF(*)で音源をつくっています。この時、ピッチフォローは100%にすると音程を取ることができます。音の高さは、カットオフ・フリケンシーで決め、DCO1、2よりもちょうど、2オクターブ高い4'にセットします。VCAはGATE側にセットして、エンベロープはすべて"0"位置で、オルガン独特のクリック音を演出します。コーラス・スイッチをONにすれば、より拡がりのあるサウンドが得られます。

(※)このようにしてVCFでつくった音源をミックスすると、スリリングな音色を表現できます。

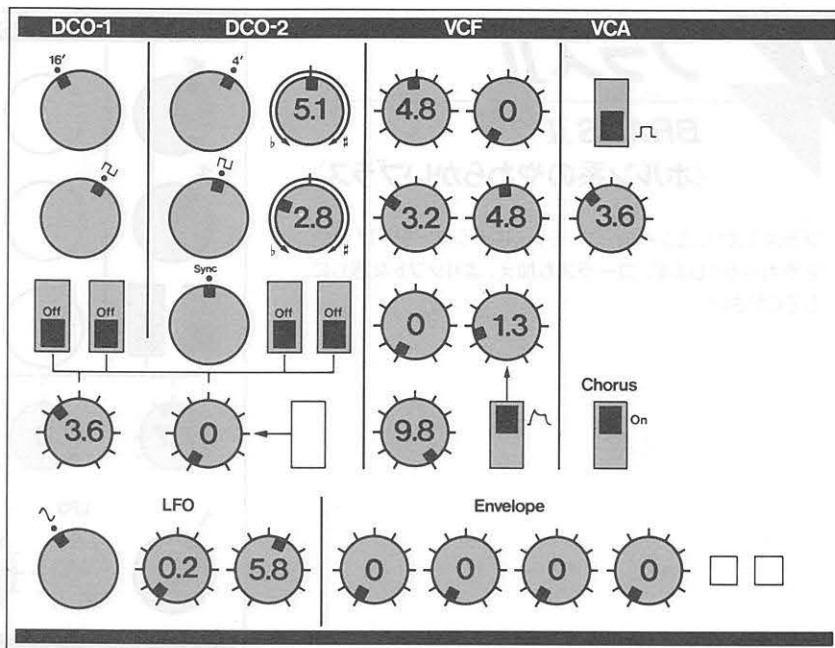


4 オルガンⅡ

ORGAN II

〈ホーム・タイプのオルガン〉

ここでは、DCO1とDCO2を2オクターブ離します。レゾナンスは発振させず、音質は、オルガンⅠよりも明るめに表現し、波形も矩形波(□)を使います。

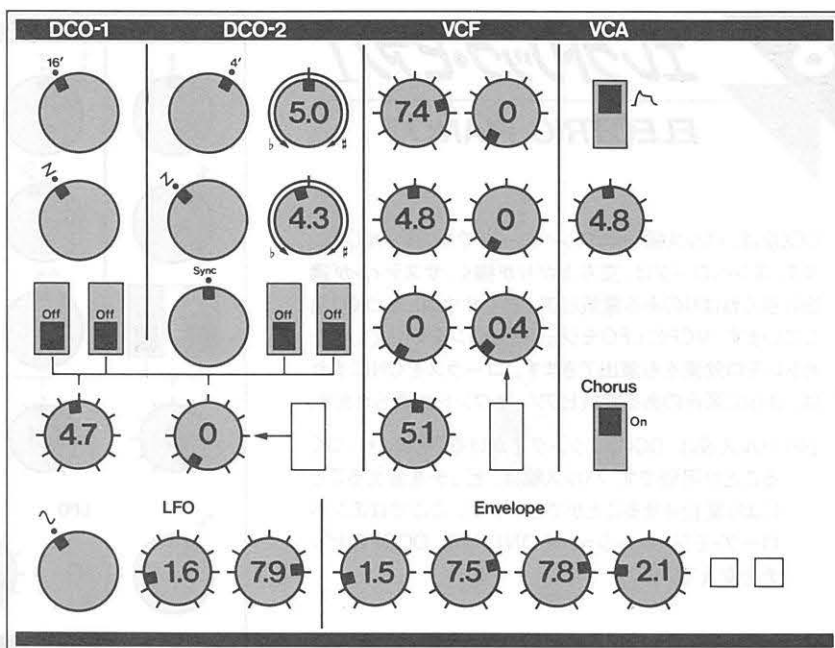


5 オルガンⅢ

ORGAN III

〈パイプ・オルガン〉

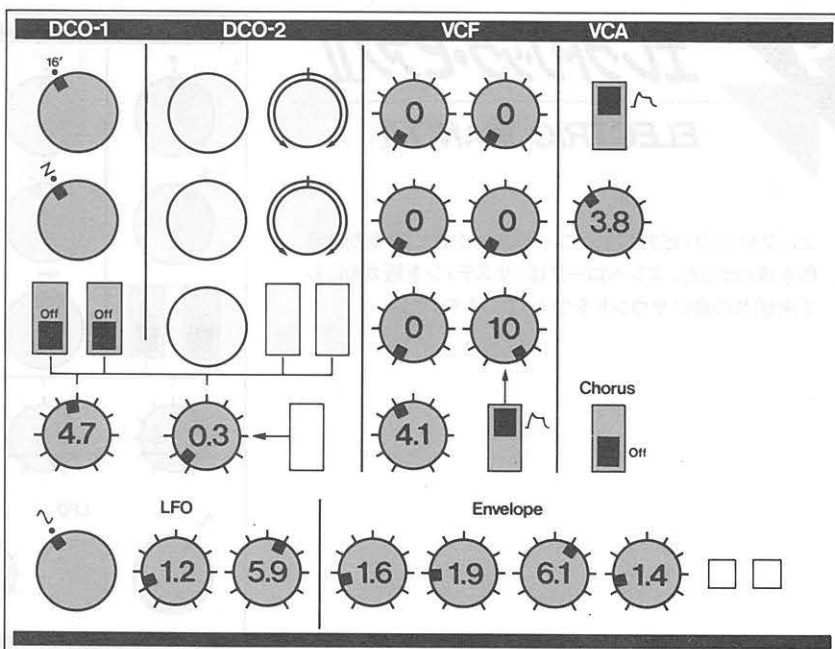
オルガンⅡのように、DCO1とDCO2は、2オクターブ離しますが、ソース・ミックスではDCO1とDCO2を1:3の割合にセットします。カットオフ・フリクエシーも“5”位置にセット、オルガンⅠ、Ⅱに比べると明るめのサウンドが得られます。VCAは、エンベロープ(∧)側にセットします。エンベロープは、アタックを多少遅らせ気味に。リリースも少々味つけて、パイプ・オルガンのようなホール・トーンが出せます。



6 ブラスⅠ

BRASS I

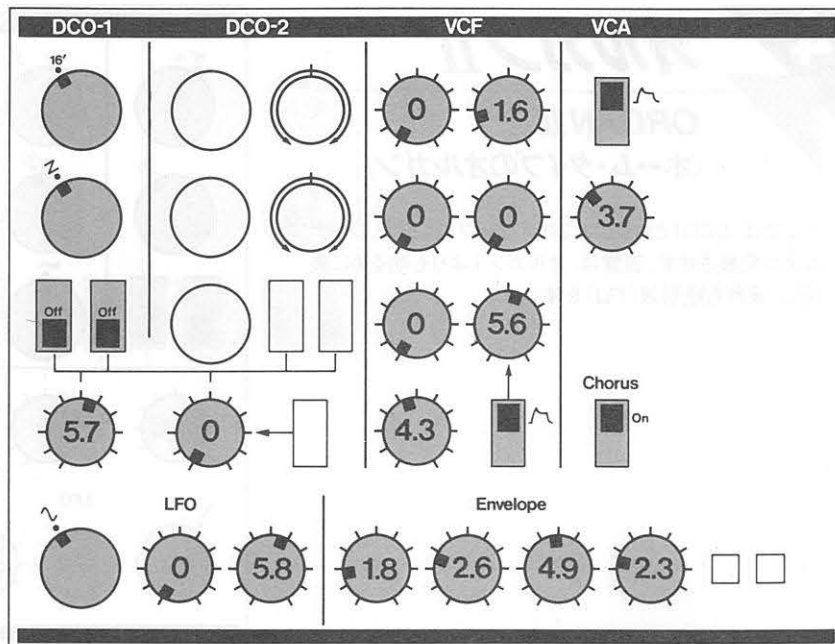
ブラスのバリッとした感じを表現するには、カットオフ・フリクエシーが“0”位置で、エンベロープ・モジュレーションを“10”位置にします。こうすれば、エンベロープにかかる電圧の変化がそのまま、VCFの音色の変化になるため、エンベロープのつくり方により多彩な音色をつくることができます。



7 **ブラスII****BRASS II**

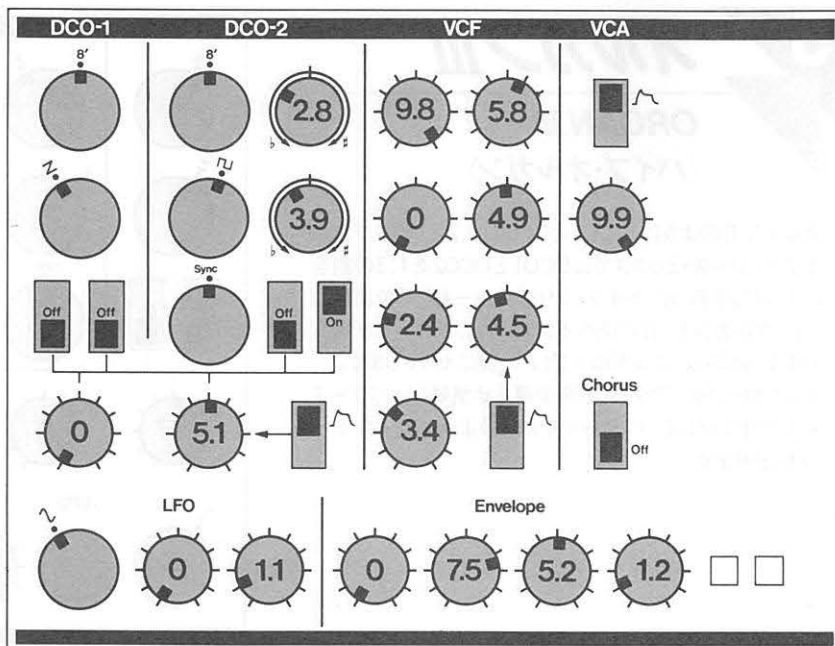
〈ホルン系のやわらかいブラス〉

ブラスIより、エンベロープ・モジュレーションを下げ音色をやわらかくします。コーラスも加え、よりソフトな感じにしてください。

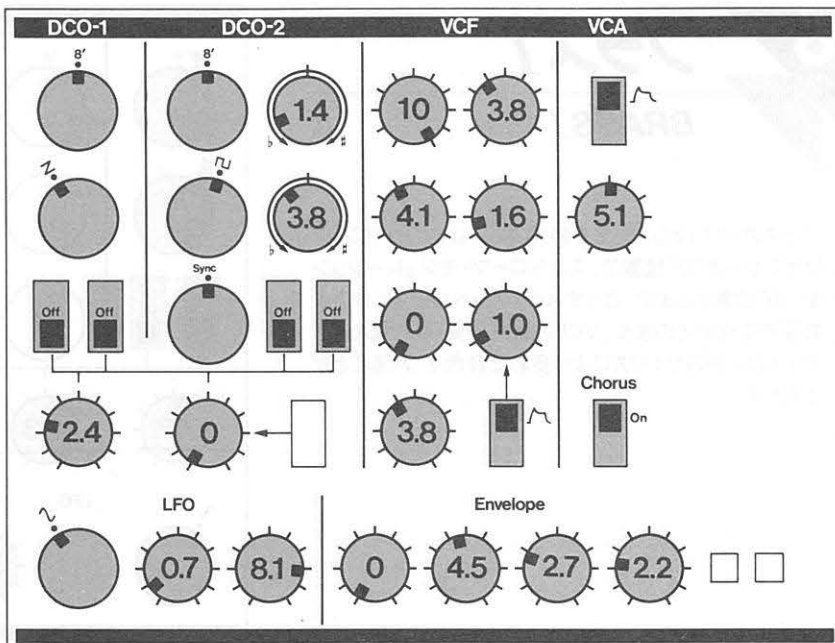
8 **エレクトリック・ピアノI****ELECTRIC PIANO I**

DCO2は、パルス幅(*)のエンベロープでコントロールしています。エンベロープは、立ち上がりが強く、サステインが適当に長くねばりのある電気ピアノ的なサウンドをつくり出しています。VCFにLFOモジュレーションをかけているためトレモロ効果をも演出できます。コーラスをONにすれば、さらに深みのある電気ピアノ・サウンドが得られます。

(※)パルス波は、DCO2にシンクをかけることにより、つくることが可能です。パルス幅は、ピッチを変えることにより変化させることができますが、ここではエンベロープ・モジュレーションをONにして、DCO2のピッチを変えています。

9 **エレクトリック・ピアノII****ELECTRIC PIANO II**

エレクトリック・ピアノIに、コーラスをかけて明るめの音色を求めました。エンベロープは、サステインを短かめにして歯切れの良いサウンドをつくっています。

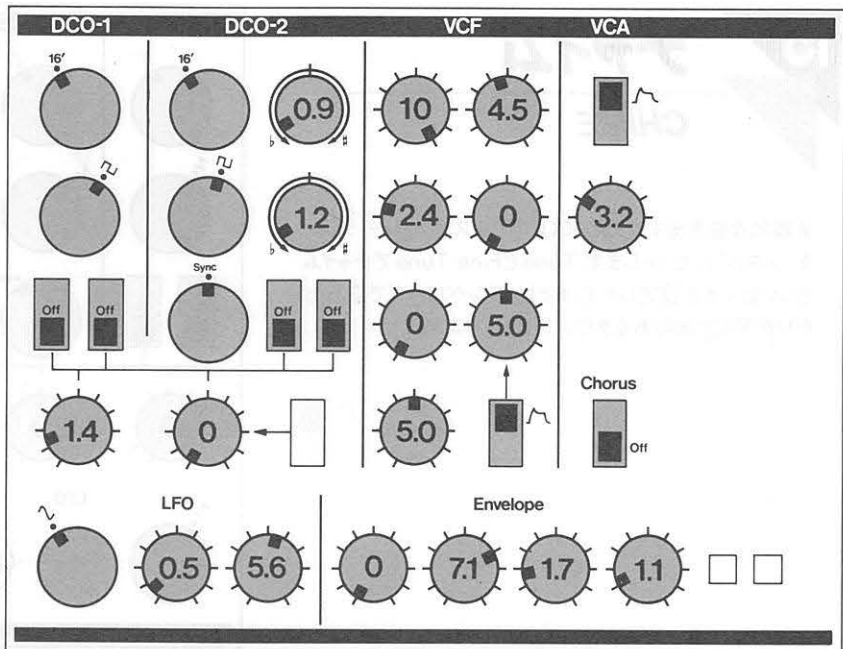


10

クラビ

CLAVI

DCO2にシンクをかけることにより、パルス波を生み出します。さらにピッチを変えれば、パルス幅も変化しクラヴィ風の波形が得られます。エンベロープで弦をひかくような感じを出します。音の減衰のとき、音質も変化しているためVCFにエンベロープをモジュレーションします。

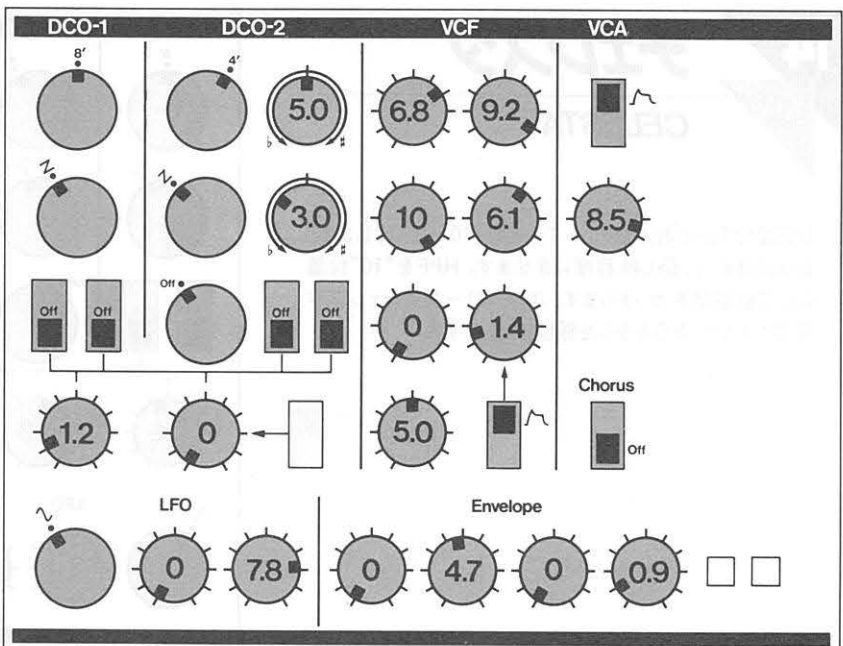


11

ハーブシコード

HARPSICHORD

DCO1は8', DCO2は4'でその割合は、1:2程度にセットします。VCFではHPFを上げ、低音部をカットしハーブシコード独特のきらびやかなサウンドに仕上げます。ハーブシコードは弦をひかいているので、その感じを出すのにはエンベロープが大切です。

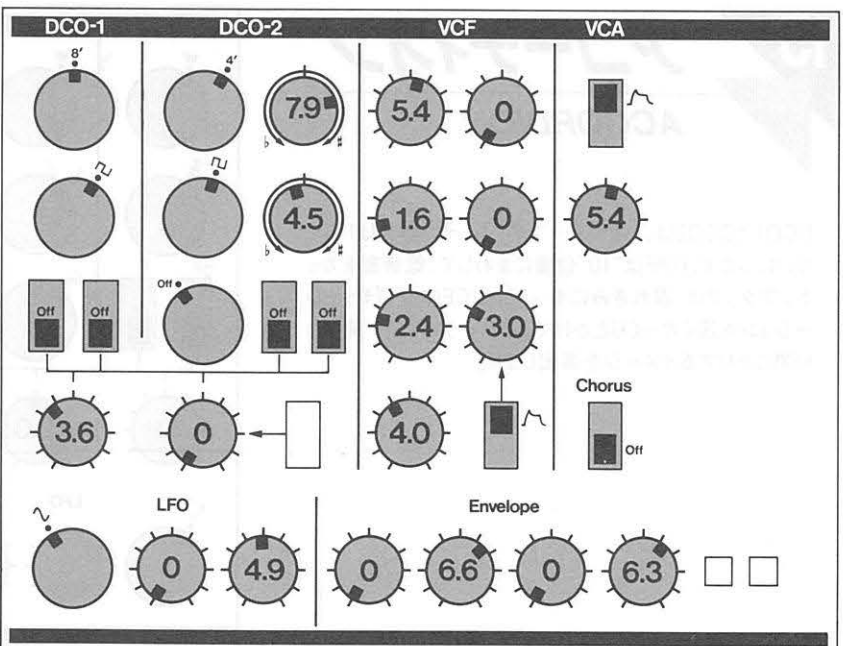


12

ビブラホン

VIBRAPHONE

DCO1は8', DCO2は4'でその割合は、1:1程度です。音色はホットな感じに仕上げ、VCFにLFOのモジュレーションをかけてトレモロ効果を出します。エンベロープでビブラホンをたたくような感じを出します。

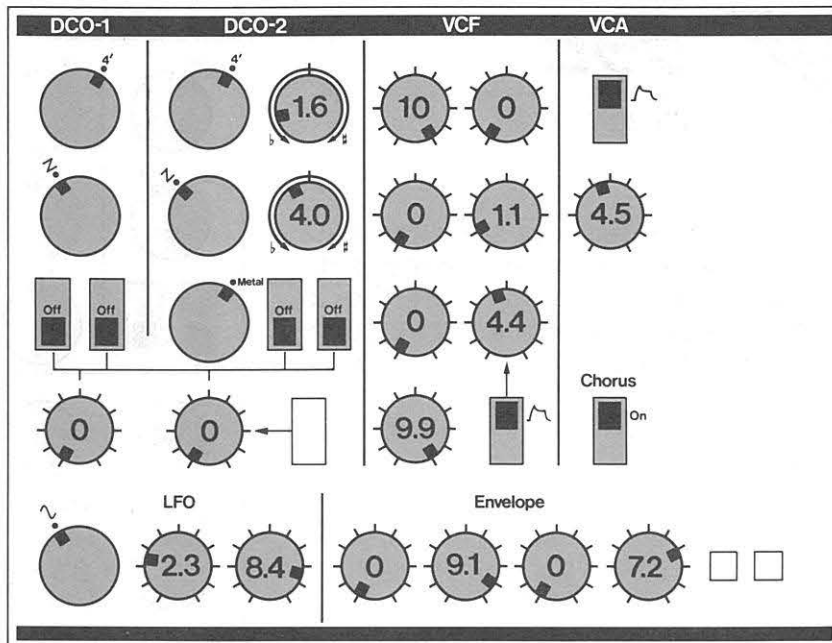


13

チャイム

CHIME

金属的な音を出すためにDCO2のクロスモジュレーションを“メタル”にセットします。TuneとFine Tuneでチャイムらしいピッチを設定します。あとは、エンベロープで立ち上がりが早く余韻のあるサウンドをつくります。

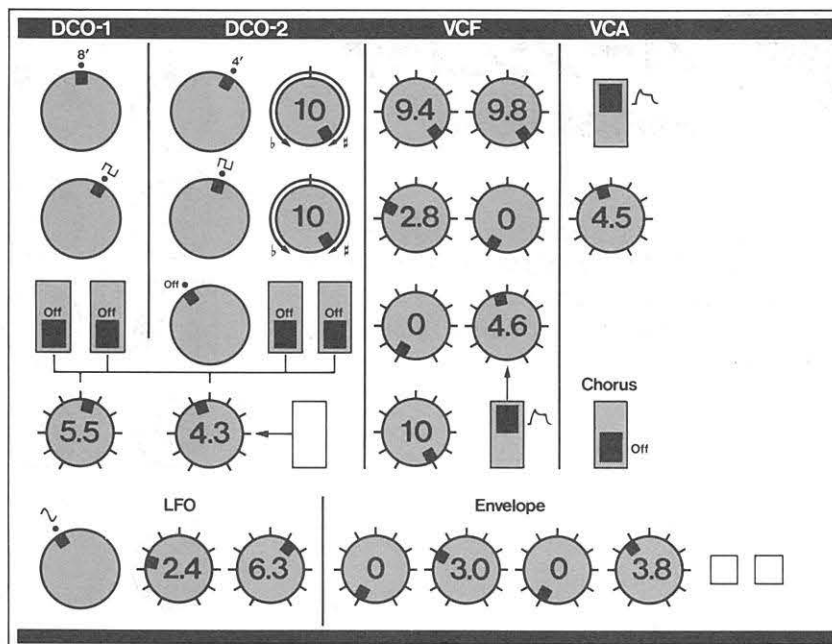


14

チェレスタ

CELESTA

DCO2のTuneおよびFine Tuneを“10”位置にします。DCO1は8'で、隠し味程度にまぜます。HPFを“10”位置にして低音部をカットします。エンベロープでチェレスタ風のかわいいキラキラした感じを出します。

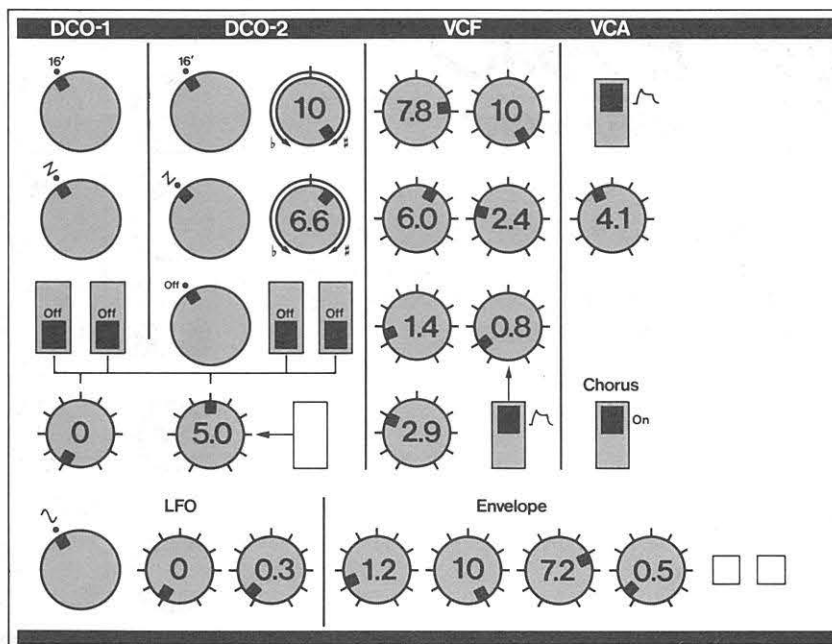


15

アコーディオン

ACCORDION

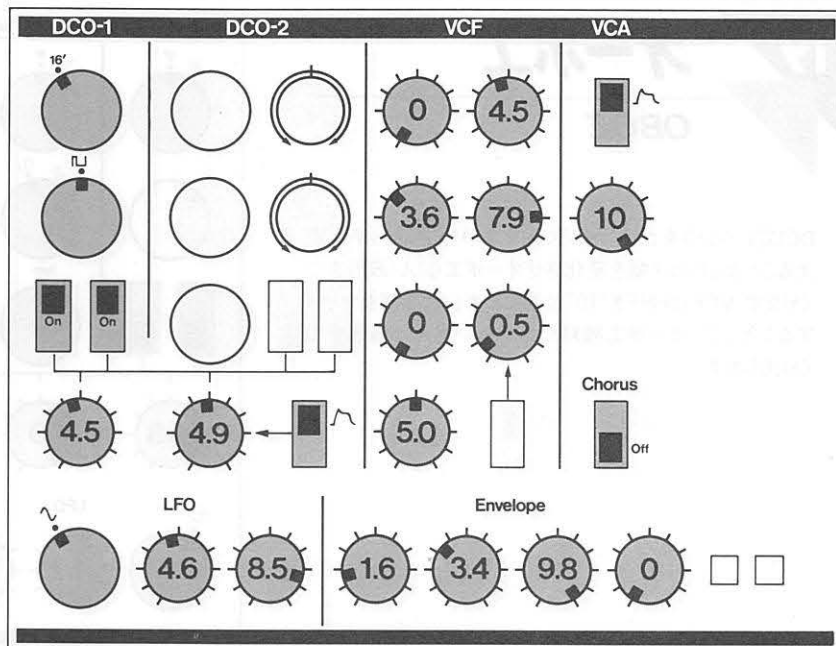
DCO1とDCO2は、1オクターブずらし、その割合は1:3ぐらいにします。HPFは“10”位置にまわして、低音部をカット。アタックは、遅れぎみにセットし、VCFのLFOモジュレーションを浅くゆっくりとかけて、アコーディオンが開いたり閉じたりするイメージを演出します。



16 ボイス

VOICE

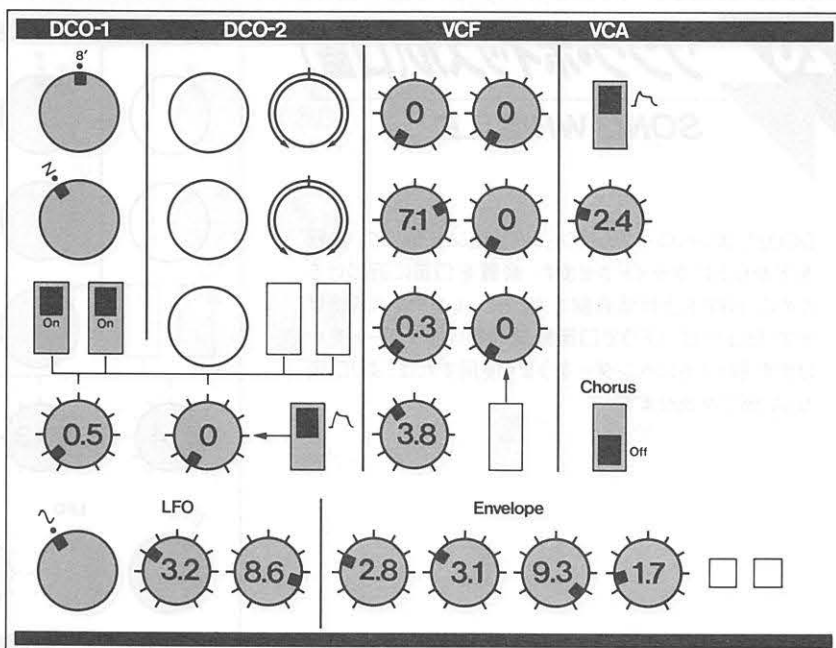
DCOにエンベロープのモジュレーションをかけて、キーを押すと音程が自動的に下から上にグラインドするようにします。ビブラートを強くかけ、レゾナンスも同様に多めにするなどして、ユニークな感じを出します。



17 バイオリン

VIOLIN

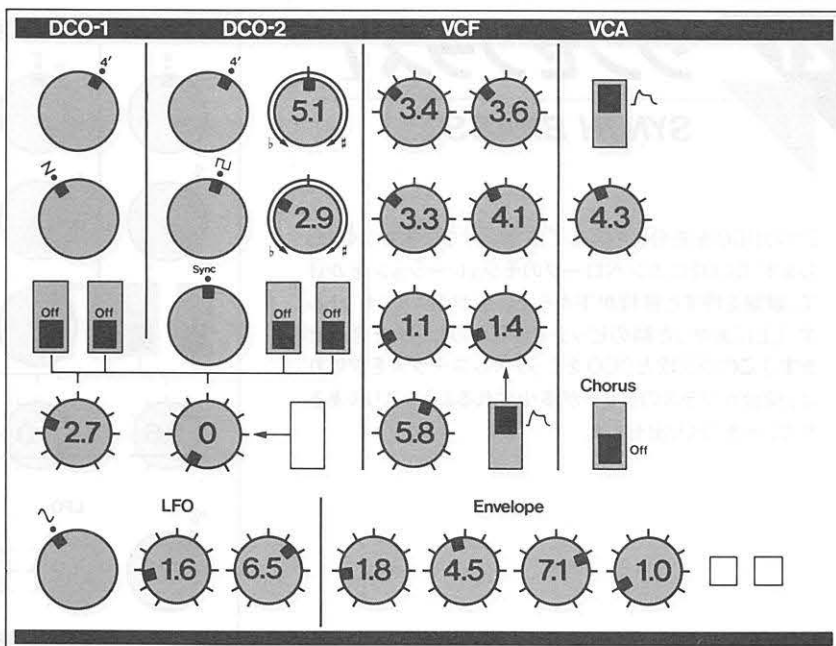
ノコギリ波(∧)を使い音質はカットオフ・フリケンシーだけ調節します。ここでは、ツマミの位置を3分の2ぐらいにセットし明るめの音をつくっています。エンベロープでバイオリンらしいソフトな感じを表現してビブラートで仕上げます。低音部はコントラバス風、中音部はビオラ風、高音部はバイオリン風になっているため弾き方に変化が得られますので、いろいろ試してみてください。



18 フルート

FLUTE

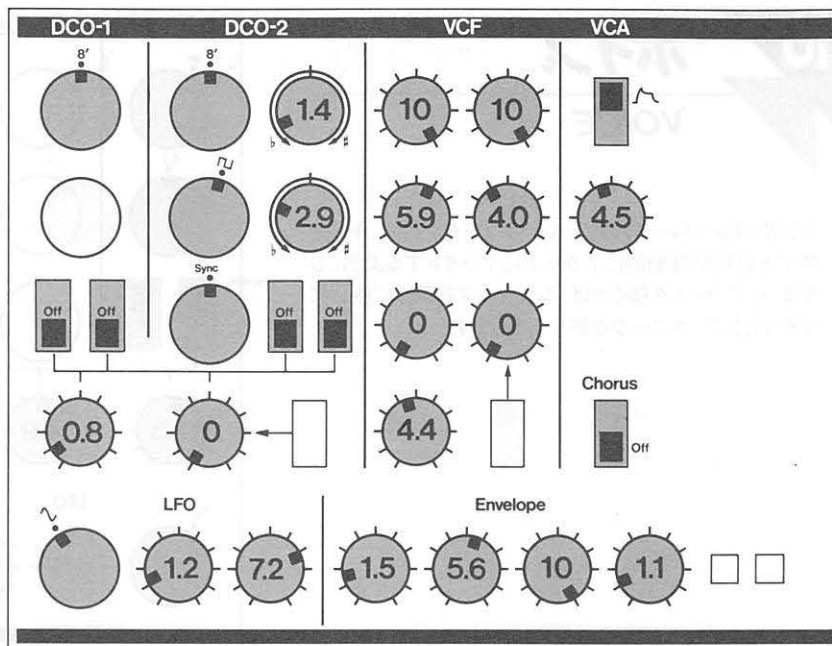
音源はDCO1のノコギリ波(∧)とDCO2のパルス波(LJ)をミックスします。フィルターは、あまり開かずによりやわらかい音質をつくり出します。VCFにLFOモジュレーションをかけてトレモロ的なビブラートを少し与えます。



オーボエ

OBOE

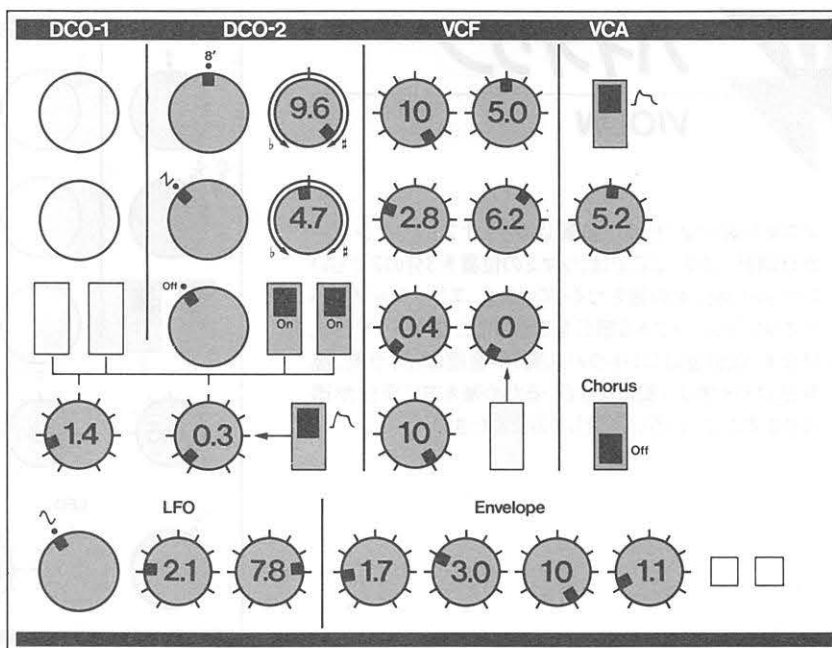
DCO2にシンクをかけ、パルス波をつくります。ピッチを変えることよりパルス幅を変化させオーボエらしい波形をつくります。VCFはHPFを“10”位置にまわし低音部をカットするなどして、オーボエ独特の線の細い澄んだ音色をつくり出します。



ソング・ホイッスル(口笛)

SONG WHISTLE

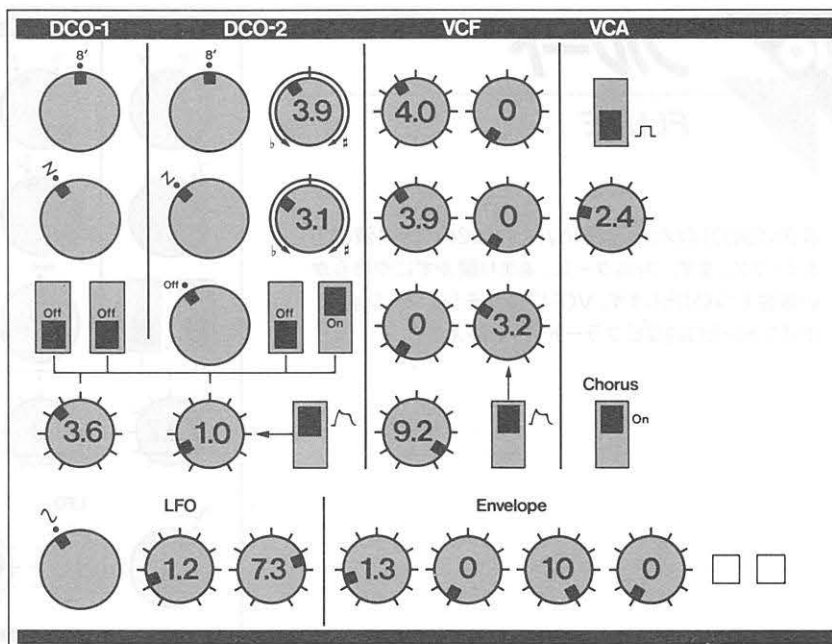
DCO2にエンベロープのモジュレーションをかけて、音程を下から上にグライドさせます。音質を口笛に近づけるために、HPFを上げ低音部をカットし、レゾナンスを上げます。仕上げは、LFOで口笛独特の早いビブラートをかけます。弾くときにベンダーをうまく使用すれば、より口笛らしい感じが出せます。



シンセブラスI

SYNTH BRASS I

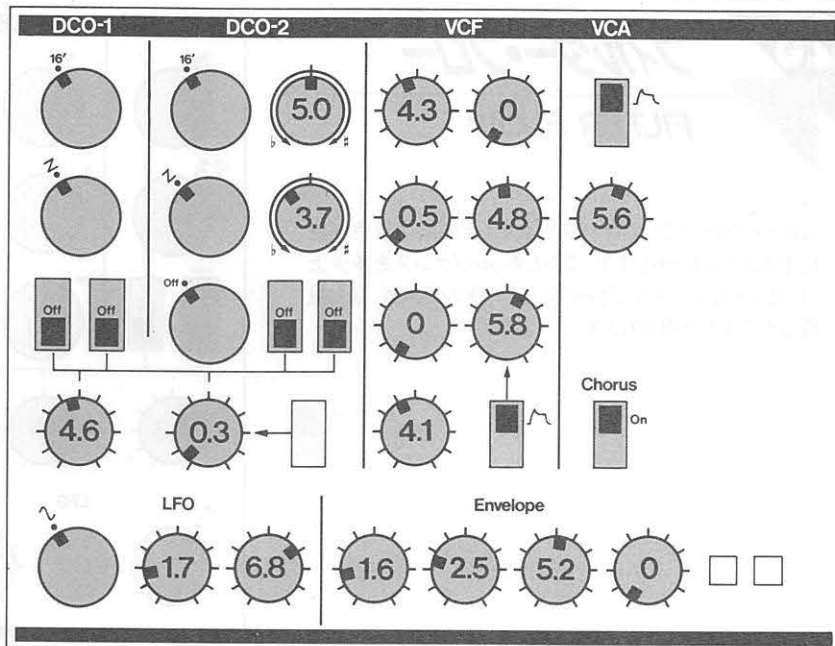
2つのDCOを充分に利用してぶ厚いサウンドをつくり出します。DCO2にエンベロープのモジュレーションをかけて、鍵盤を押すと音程が下から上にあがるようにセットします。(上にあがった時のピッチとDCO1のピッチを合わせます。)このDCO2とDCOをミックスしコーラスをかければ、何台かブラスのピッチが多少ずれるようなスリルあるサウンドをつくり出せます。



シンセブラスII

SYNTH BRASS II

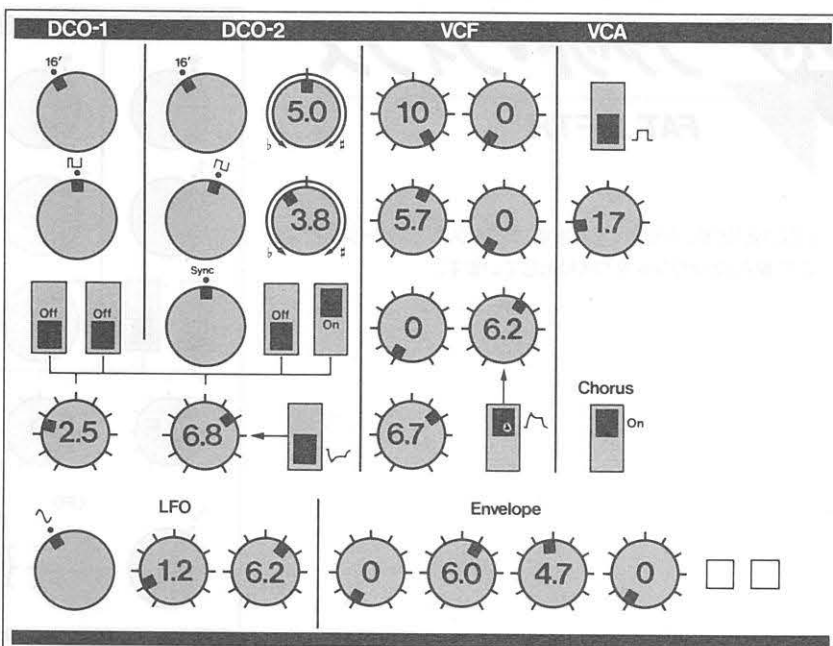
ソフトなブラスIの音にレゾナンスを加え、シンセサイザーらしい音を出します。DCO1とDCO2をミックスに、HPFを“0”にするなどして音に厚みを加えます。やわらかい音質にコーラスが気持ちよく解け込んでいます。



ディストーション・ギター

DISTORTION GUITAR

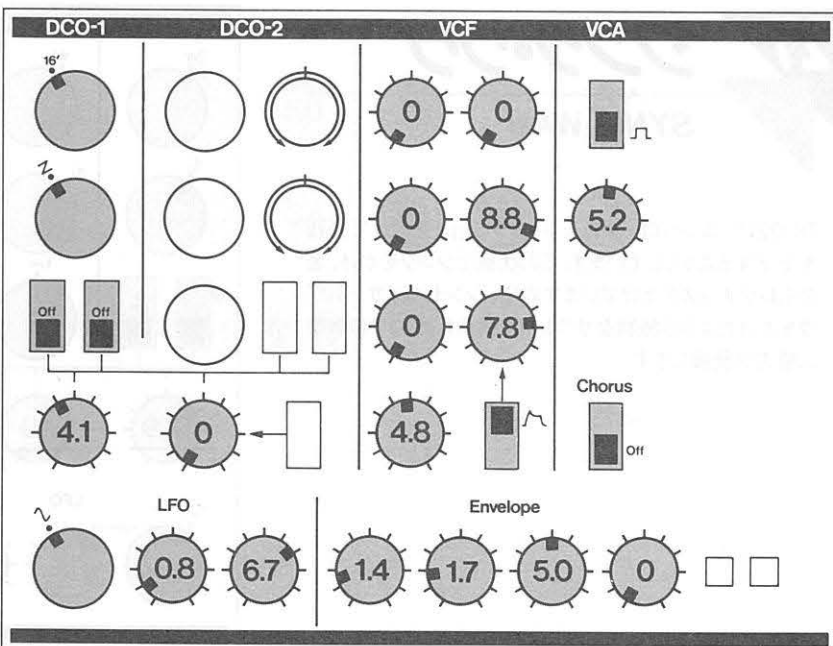
DCO2は、パルス幅のエンベロープをコントロールしています(パルス幅のつくり方は、エレクトリック・ピアノ I を参照P-5)。アタック“0” リリース“0”にしてギターらしい攻撃的なサウンドが得られます。



ジューシー・ファンク

JUICY FUNK

レゾナンスを強調した最もポピュラーなシンセサイザー・サウンド。シンセ・ベース、メロディー、コードと用途は多用途です。

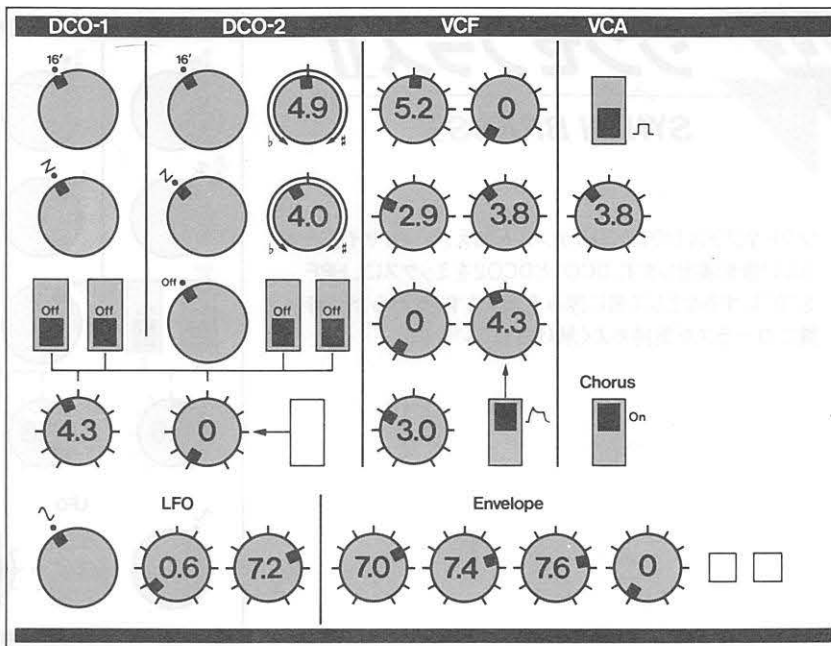


25

フィルター・フロー

FILTER FLOW

スロー・アタックにして音が立ち上がると同時に音色が変化するようにセットします。このとき、レゾナンスを多少上げ、ピッチも少々ずらしぎみにコーラスをかければ、より重厚なサウンドが得られます。

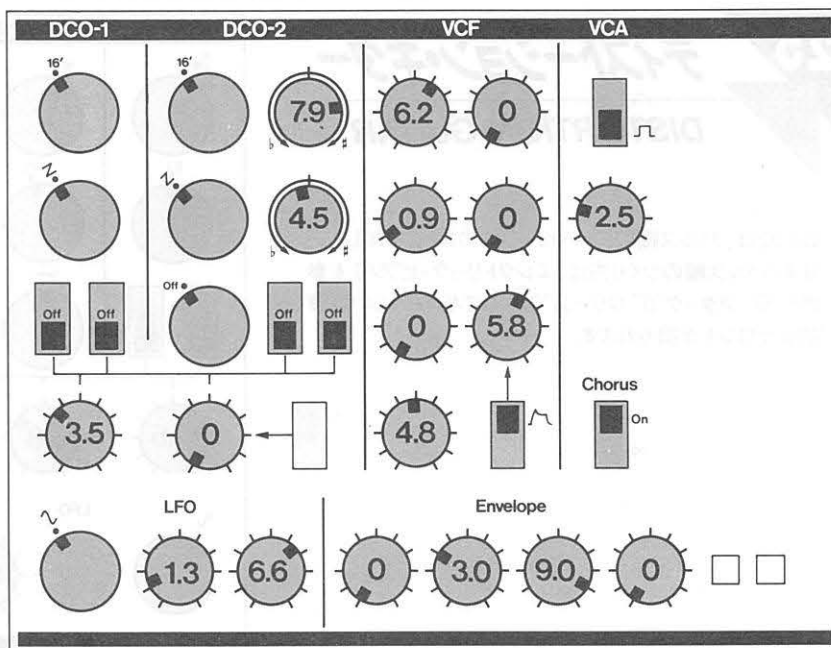


26

ファット・フィフス

FAT FIFTH

DCO1とDCO2を5度ずらしします。アタック“0”リリース“0”で攻撃的なサウンドをつくり出しています。

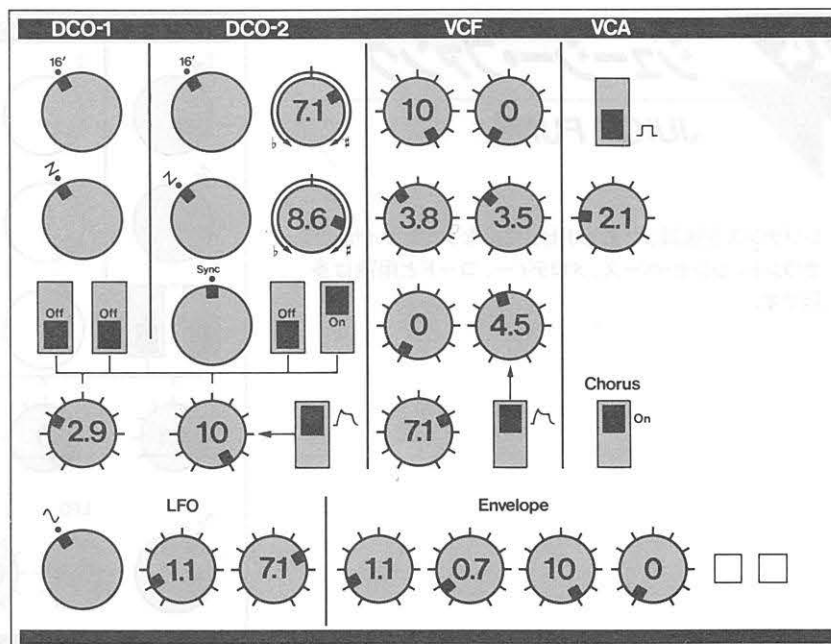


27

シンク・ワウ

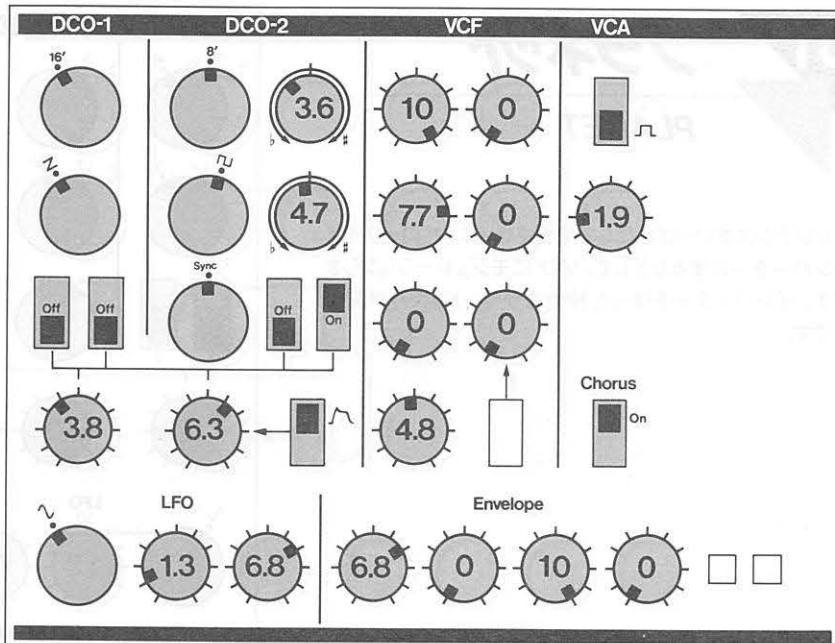
SYNC WAH

DCO2に、エンベロープのモジュレーションをかけて音程を上下するようにしています。この状態でシンクをかけ、音色もレゾナンスを上げていますので、シンセサイザーにワウをかけたような独特なサウンドが得られます。ソロ演奏に威力を発揮します。



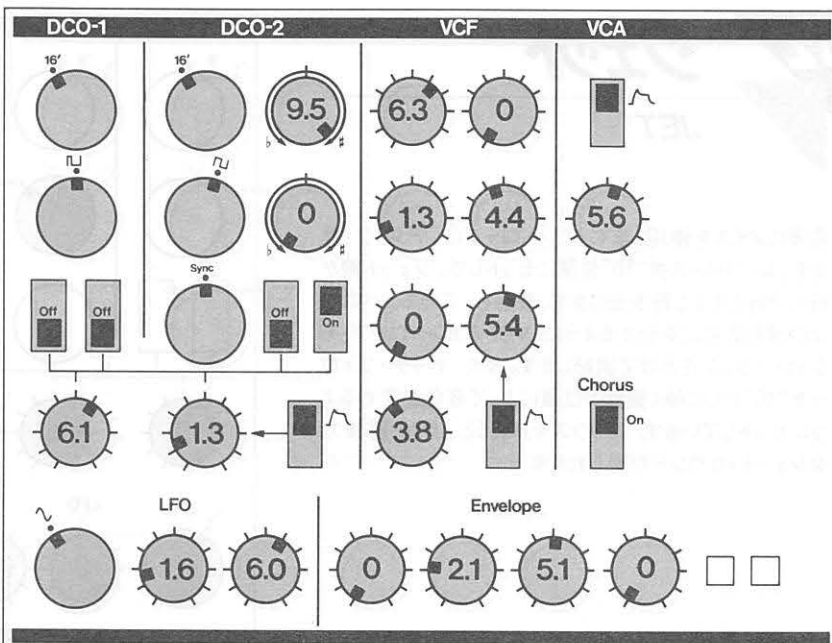
28 シンク・スイープ SYNC SWEEP

DCO2にエンベロープのモジュレーションをかけて、音程が下から上にあがるようにセットしてください。(エンベロープのアタックを遅らせていますが、立ち上がりの早い音をつくるために、VCAはGATE側にセットします。)この状態で、シンクをかけているために、スイープ感のあるサウンドが得られます。ソロを演奏するときに威力を発揮できます。



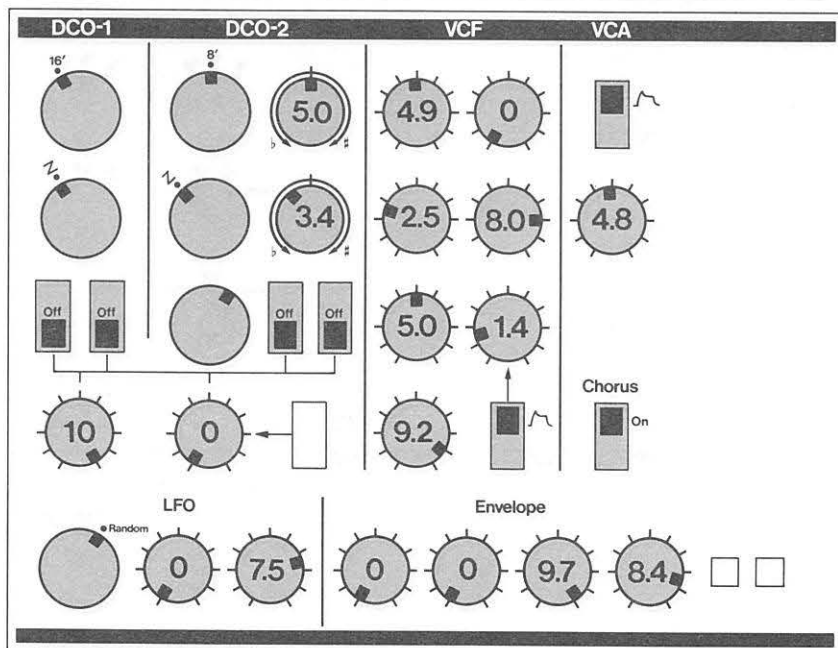
29 ファンキー・クラビ FUNKY CLAVI

DCO2は、パルス幅のエンベロープをコントロールしています(パルス幅のつくり方は、エレクトリック・ピアノI参照P-5)。VCFでレゾナンスをあげ、VCAにコーラスをかけるなどして、クラビに比べ、ややクセを出しています。



30 パルサー PULSER

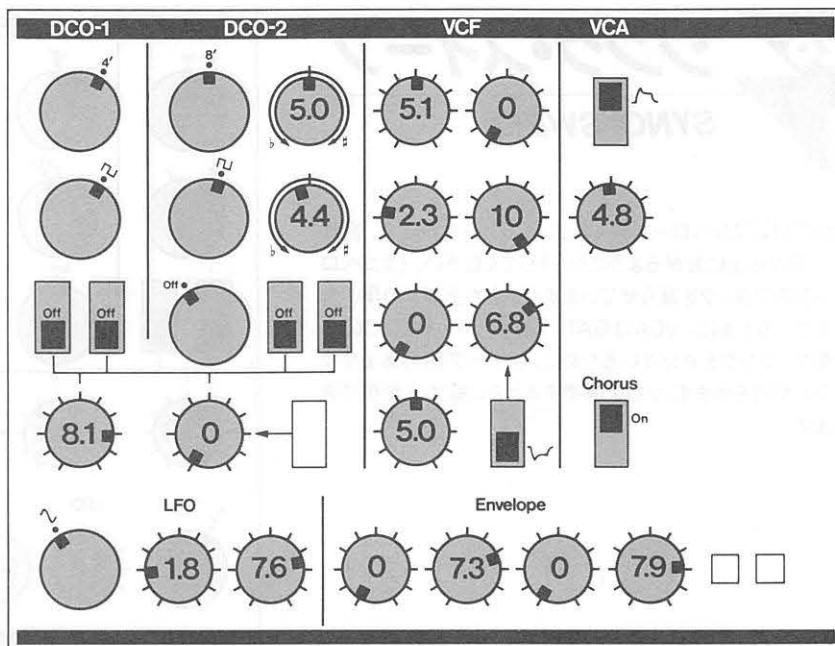
サンプル&ホールド・サウンドで、VCFにLFOのモジュレーションをランダムでかけると得ることができます。リリースを多くかけレゾナンスをあげると、SF的な感じが強調されます。



プラネット

PLANET

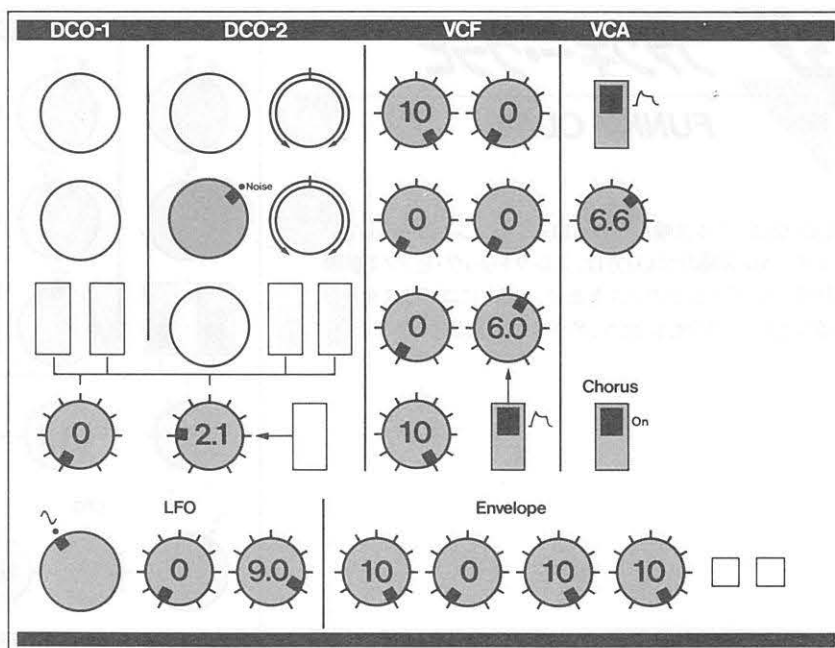
レゾナンスをいっぱいにして発振させ、エンベロープをインバーターにするなどして、VCFにモジュレーションします。インバーターを使った独特なサウンドづくりが可能です。

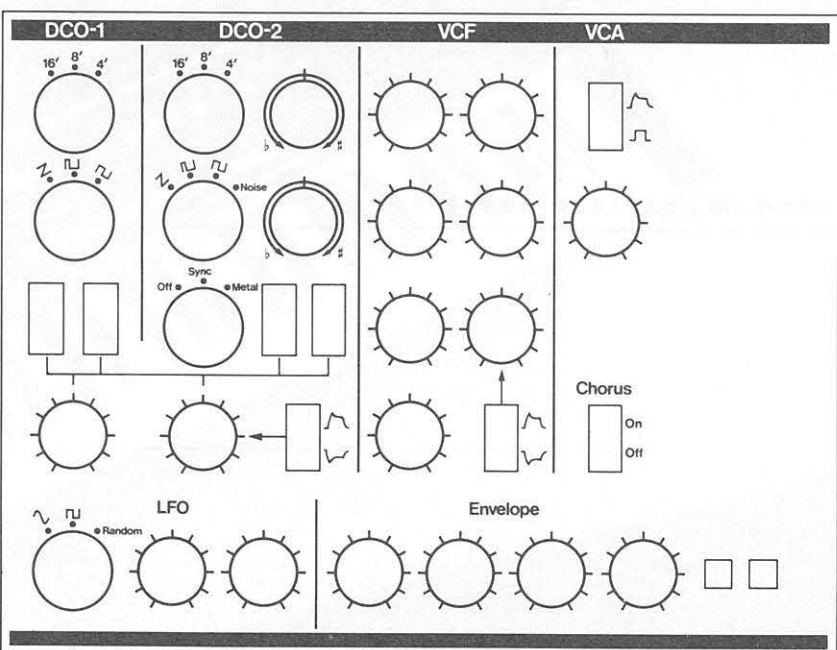
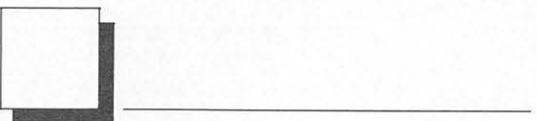
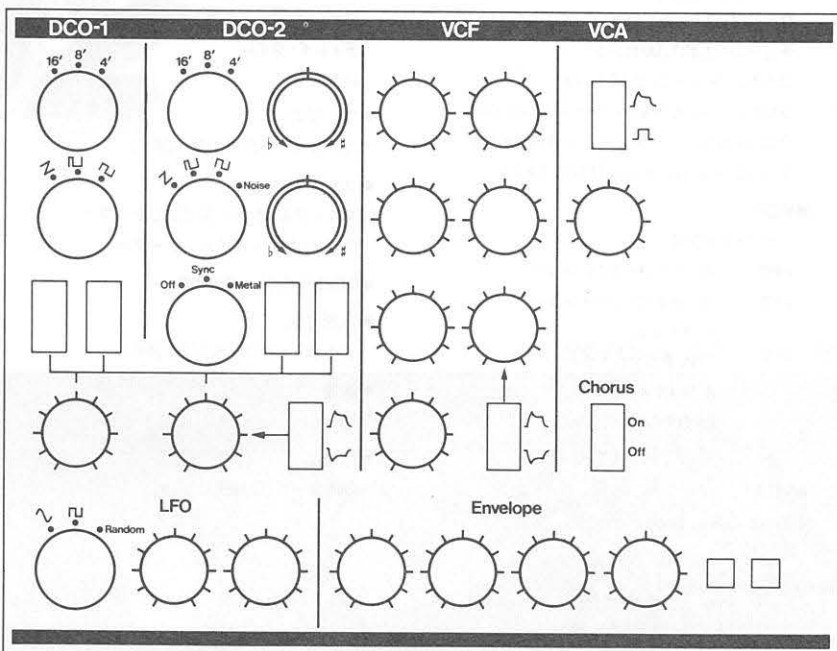
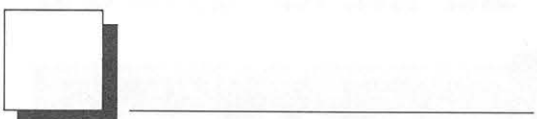
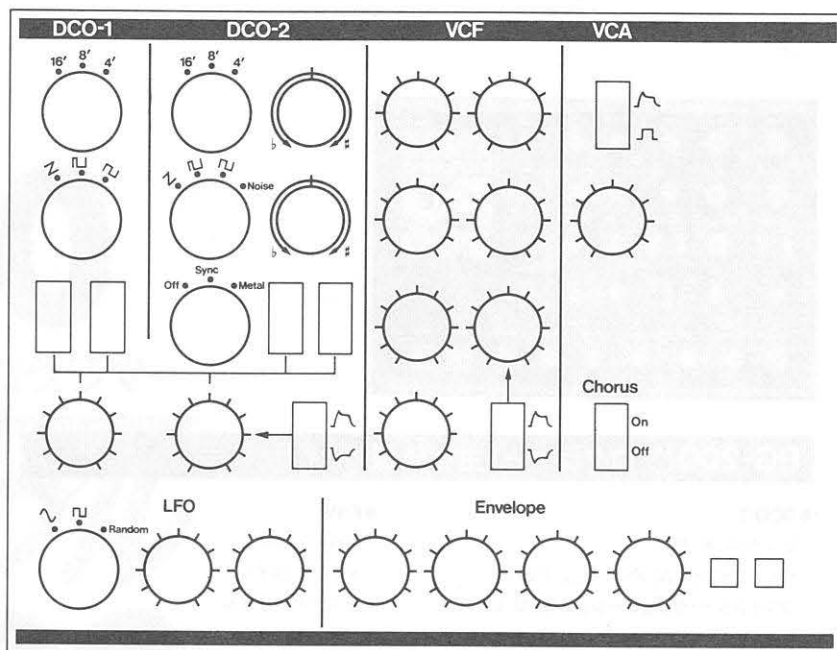
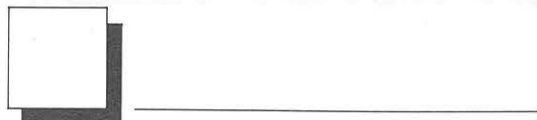


ジェット

JET

音源にノイズを使用します。エンベロープは、アタック / サステイン / リリース共“10”位置にセットして、ジェット機が飛んで行くような音を出します。音色も、このエンベロープの波形と共に変化するように、VCFのエンベロープ・モジュレーションをあげて調節します。また、ピッチ・フォローを“10”にして弾く鍵盤の位置によって音色が変わるようにセットしています。コーラスを加えると、より一層強力なジェット・サウンドが得られます。







PG-200(プログラマー)主な仕様

- DCO-1
 - レンジ(4', 8', 16')
 - ウェーブ・フォーム(△, ▽, □, ▢)
 - フリケンシー・モジュレーション(LFO, ENV)
- DCO-2
 - レンジ(4', 8', 16')
 - ウェーブ・フォーム(△, ▽, □, ▢, ノイズ)
 - チューン(±約1200セント)
 - ファイン・チューン(±50セント)
 - フリケンシー・モジュレーション(LFO, ENV)
 - クロス・モジュレーション(シンクロ、メタル)
 - モジュレーション・センス(ENV, LFO)
- VCF
 - ソース・ミックス
 - HPF……カットオフ・フリケンシー
 - LPF……カットオフ・フリケンシー
 - レゾナンス、
 - ENVモジュレーション、
 - ボラリティー、
 - LFOモジュレーション、
 - ピッチ・フォロー
- VCA
 - モード(ENV, Gate)
 - レベル
- ENV
 - アタック・タイム
 - ディケイ・タイム
 - サスティン・タイム
 - リリース・タイム
- LFO
 - ウェーブ・フォーム(△, ▽, □, ランダム)
 - ディレイ・タイム
 - レイト
- コーラス
 - コーラス・スイッチ(ON/OFF)
- ファンクション
 - マニュアル・ボタン & インジケーター
 - ライト・ボタン & インジケーター
- DINコネクター(DIN6P)
- 外形寸法
 - 244(W)×45(H)×172(D)mm
- 重量
 - 1.4kg
- 付属品
 - DINコード(DIN6P)

※仕様、外観は、改良のため変更する場合があります。

Roland
ローランド株式会社

本社
●〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13 ☎06(681)8661
営業所
●札幌/〒060 札幌市中央区北一条西7-3 ☎011(281)0708
●仙台/〒980 仙台市本町1-10-12 ☎022(25)6221
●東京/〒101 東京都千代田区神田須田町1-5 ☎03(251)5595
●大宮/〒330 埼玉県大宮市桜木町4-2 ☎0486(45)7737
●横浜/〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-9 ☎045(313)3841
●浜松/〒433 浜松市高丘町878-6 ☎0534(37)1231
●松本/〒399-65 松本市 秀川平田349-2 ☎0263(26)8853
●名古屋/〒460 名古屋市中区新栄1-49-18 ☎052(241)4332
●大阪/〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13 ☎06(681)8661
●広島/〒730 広島市中区袋町2-25 ☎082(247)2731
●福岡/〒812 福岡市博多区博多駅前3-18-6 ☎092(471)1481
ショールーム
●東京/〒101 東京都千代田区外神田1-11-6 小暮ビル5F ☎03(257)1301
●大阪/〒530 大阪市北区梅田1-2-2-200 大阪駅前第2ビル2F ☎06(346)0552